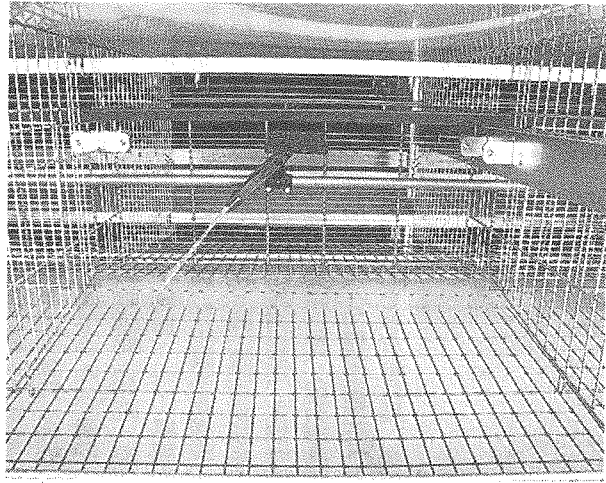


# 直立ケージ「エコブリーズ」糞乾電気代大幅削減 エアパイプ対比1/4に

ハイテム

（株）ハイテム（安田勝彦社長）本社・岐阜県各務原市テクノプラザ2-10は、電気代が上昇傾向となっている中で、かねてから糞乾電気代の削減に取り組んできたが、ブレード型糞乾システムエコブリーズでベルト駆動から直結駆動方式に改善するとともに、駆動モ



ハイテムエコブリーズ

ーターの容量見直しとインバータ駆動導入で糞乾電気代的大幅削減に成功、そのフィールド実績例を公表した。

糞乾電気代は、換気電気代と並ぶウインドレスの二大電気代とされている。エコブリーズ糞乾は、エアパイプ糞乾に比べ、糞の乾きが通常10%程度

長く、半日程度運転を止めている農場もあるが、この場合はさらに電気代が下がることになる。

ハイテムでは、糞乾電気代のほか、50%換気扇の本体外形寸法は同じで、羽根径を3%大きくし、消費電力効率を20%向上させた省エネ型換気扇を同社鶏舎システムの

	エコブリーズ		ウイスク 前世代 (エコブリーズ)	エアパイプ ハイテム (省エネタイプ)
	例1	例2		
年間羽当たり 糞乾消費電力(kWh)	0.4	0.3	0.7	1.4
羽当たり糞乾燥電気代 (20年間:円)	113	102	218	409
指数比較	28	25	53	100

(注) 1. 電気代は15円/kWhとして計算  
2. 年間糞乾燥消費電力は現場測定数値に基づき設備稼働90%として計算